

MOUSOU

THEATER 5



成人向

STUDIO BIG-X
PRESENTS
HIROSHI ARINO

STAR WARS
RETURN OF THE JEDI



Hinami
Akemi

Musou
Theater

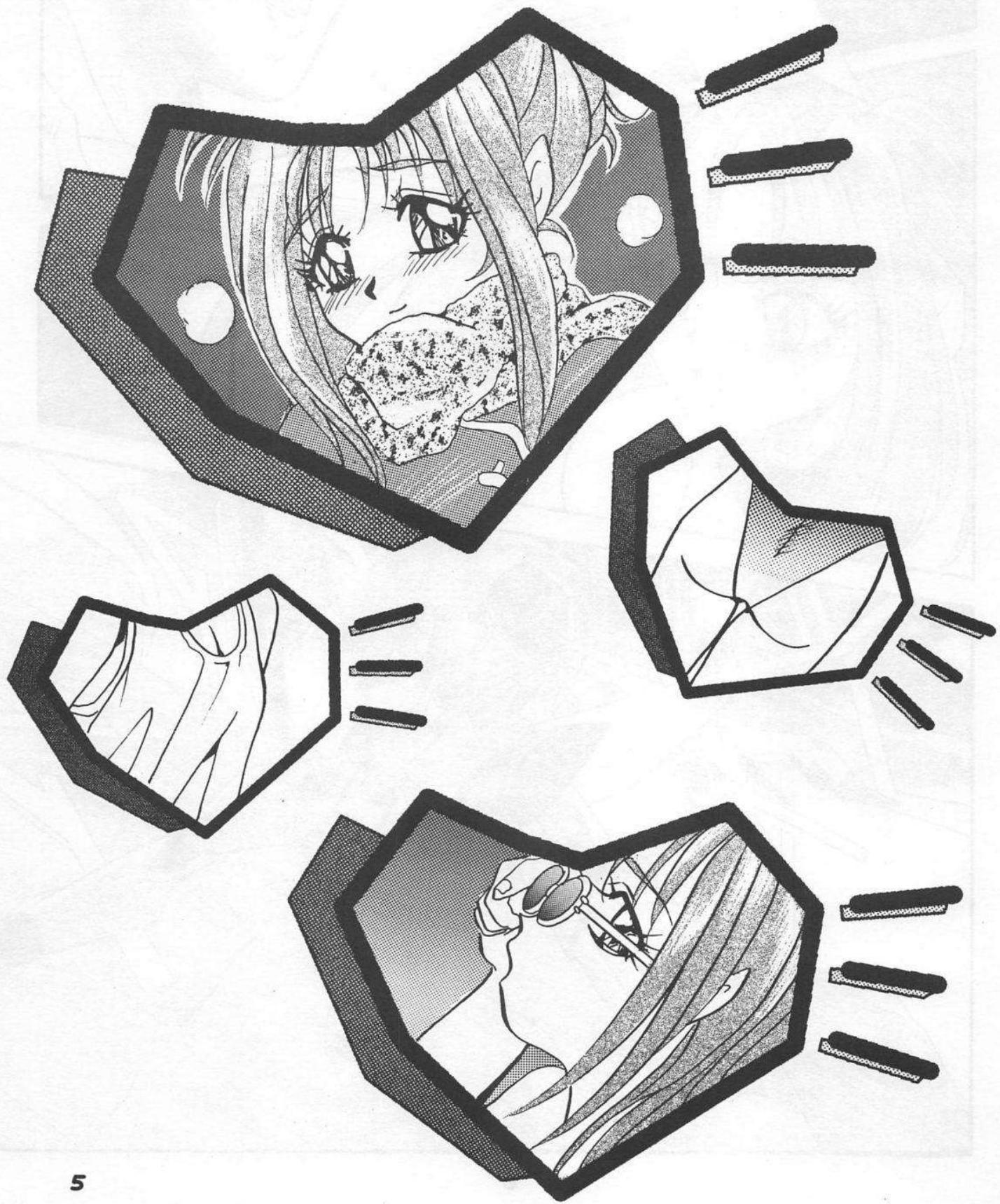
CONTENTS OF MOUSOU THEATER 5

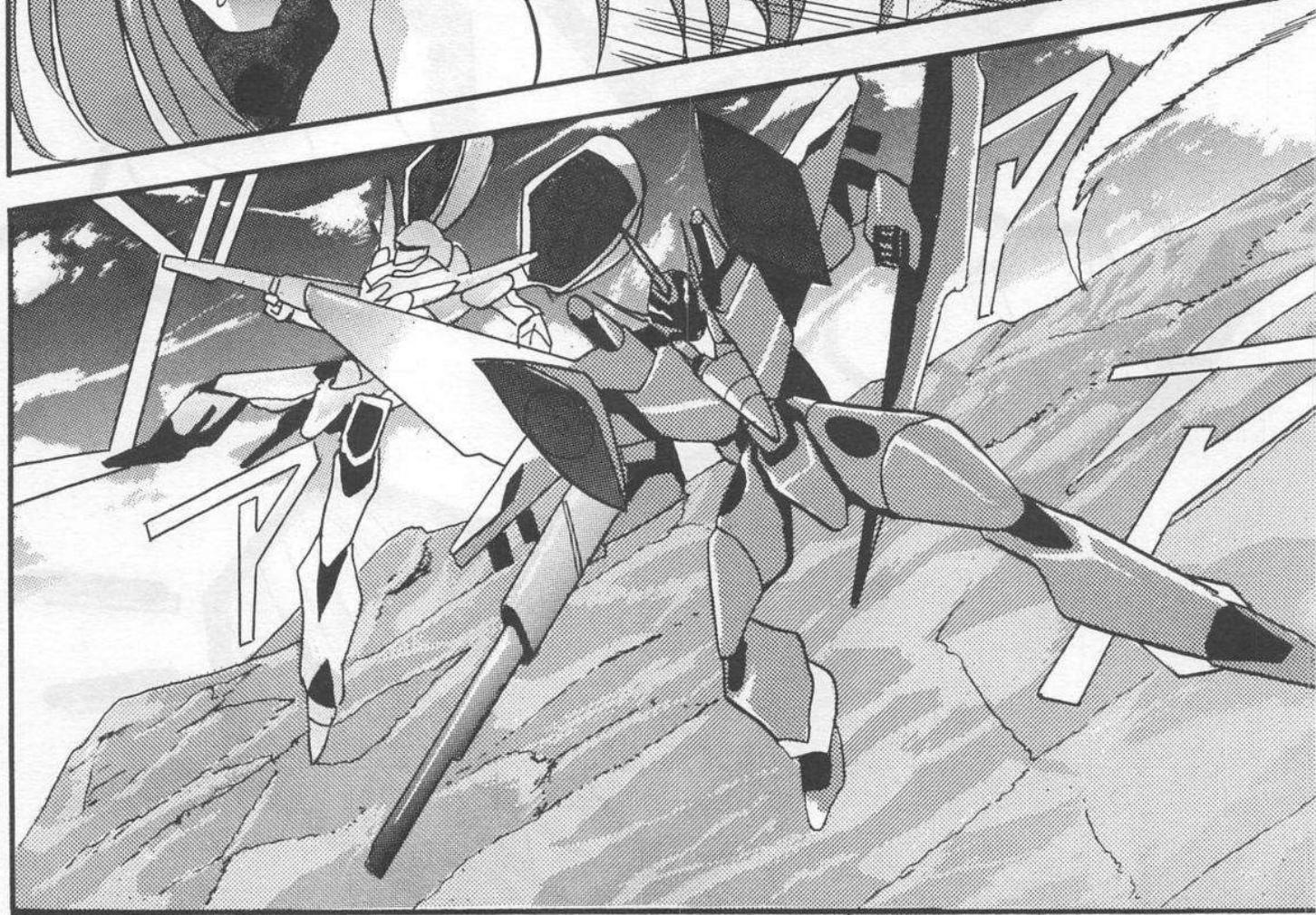
- | | |
|----|--|
| 4 | 目次 |
| 5 | ガムリンの妄想的愛情 または私は
如何にして自爆することを止めてミレーヌ
さんにLOVE、LOVEになったか |
| 21 | ようすけはとっても・御機嫌ナナめだわ |
| 35 | 主人公ときめきの十三番勝負 |
| 49 | 大人になりたいっ！ |
| 67 | 突撃！コスプレ&ダンパ追っかけ大作戦
PART V |
| 71 | モコナ・アドベンチャー（予告編） |
| 73 | ATO GAKI |
| 74 | おくすけ |

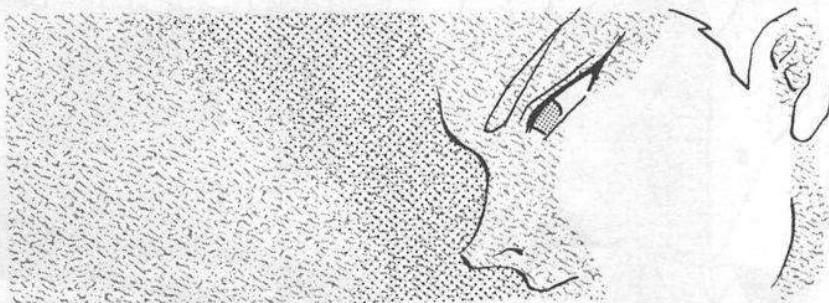


ガムリンの妄想的愛情

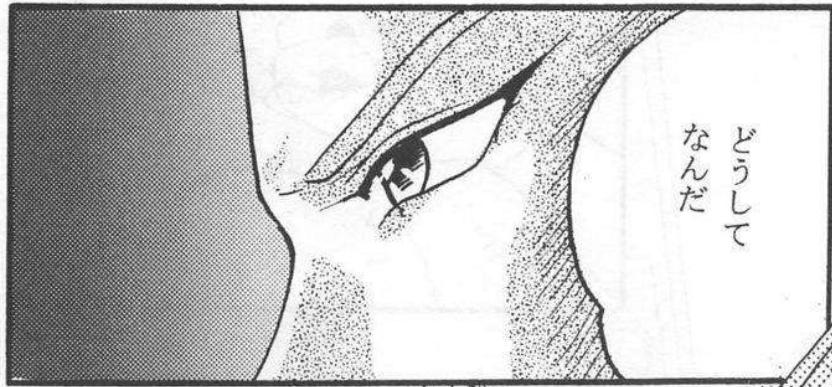
または私は如何にして自爆することを止めて
ミレーヌさんにLOVE、LOVEになったか

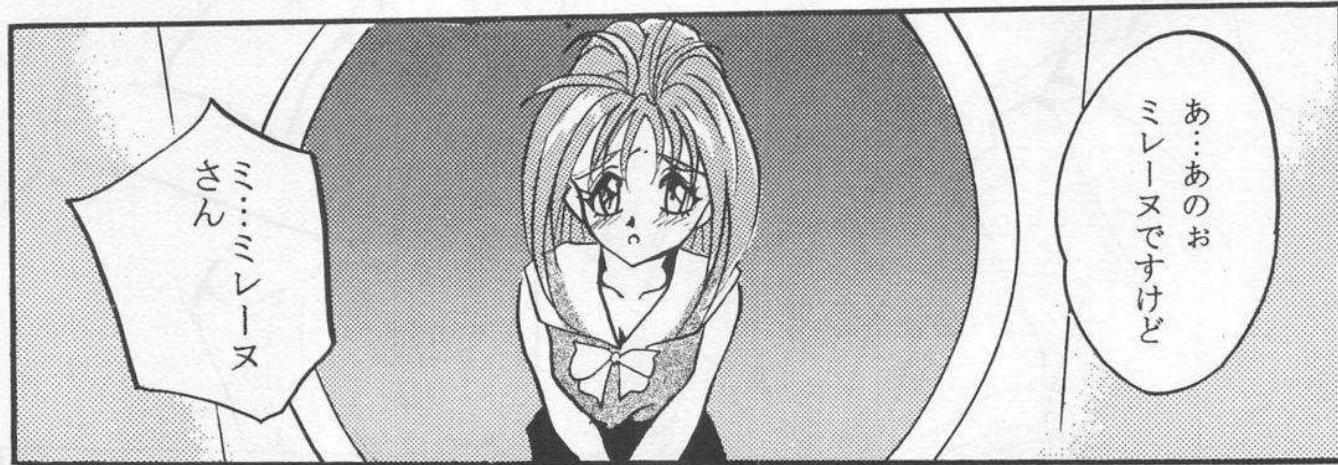


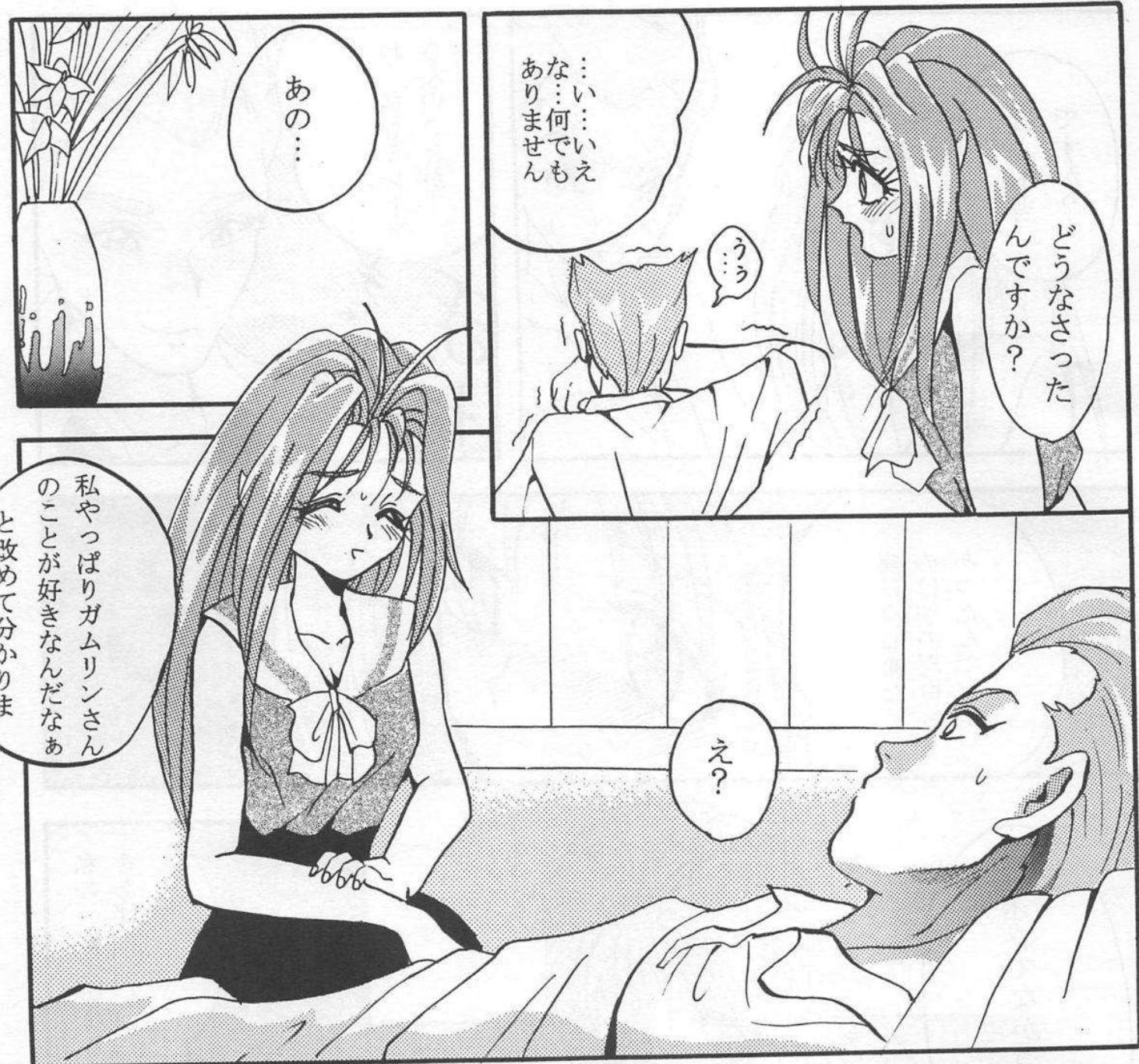


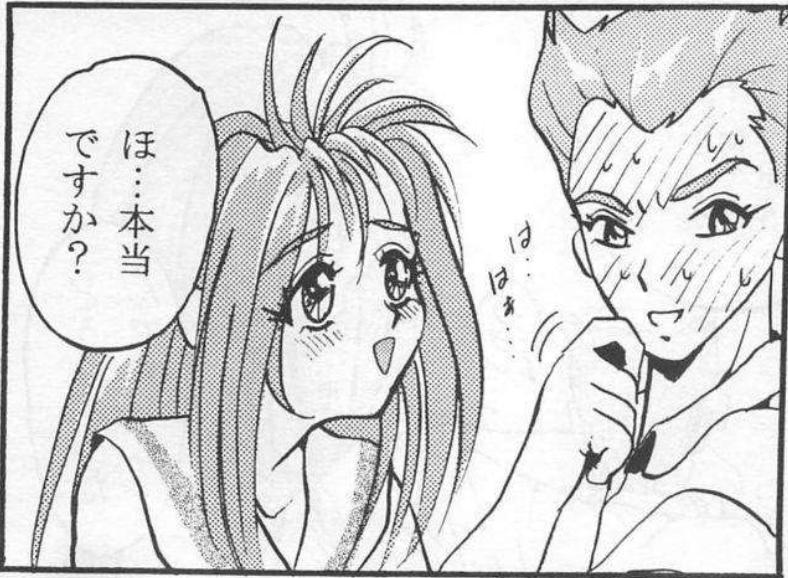


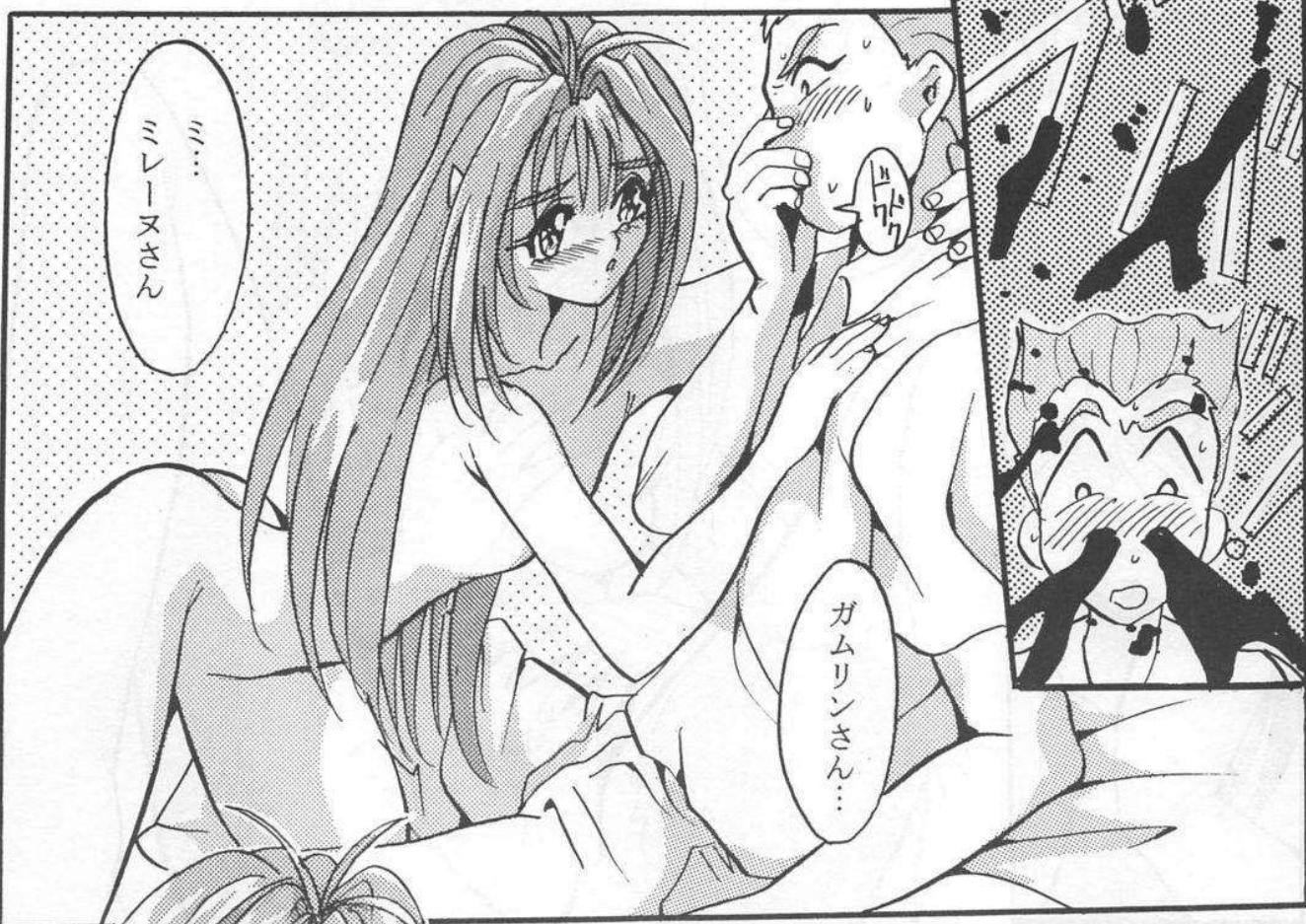


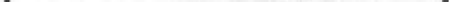
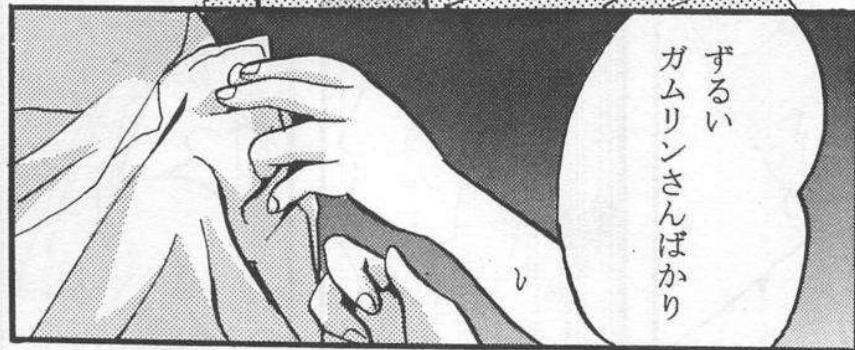




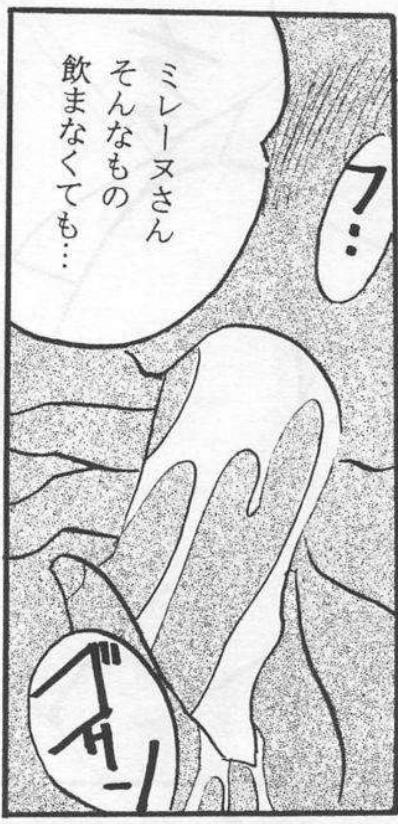












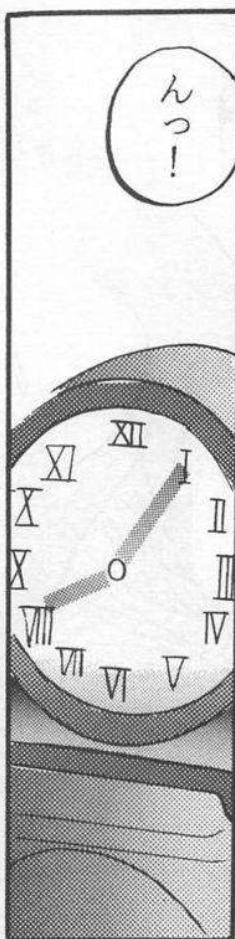
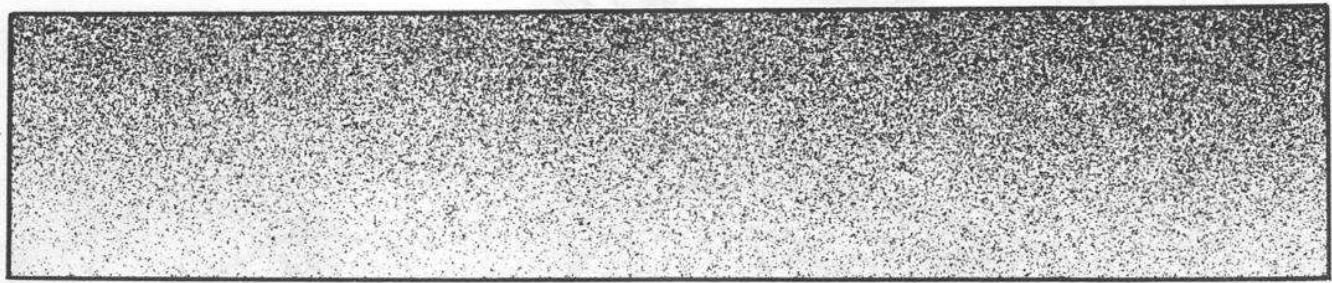


いつ…はつ

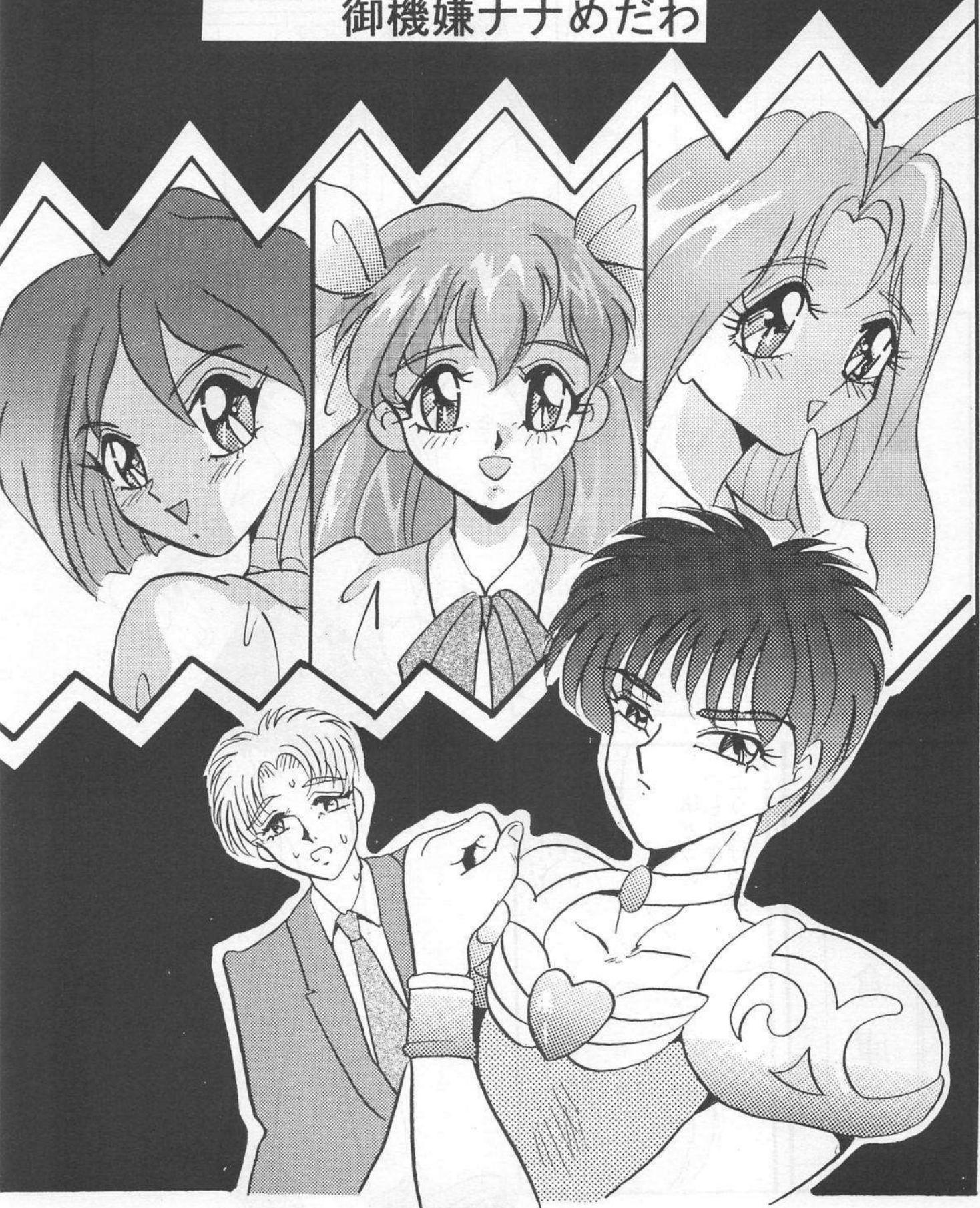
は…
入ったあ！



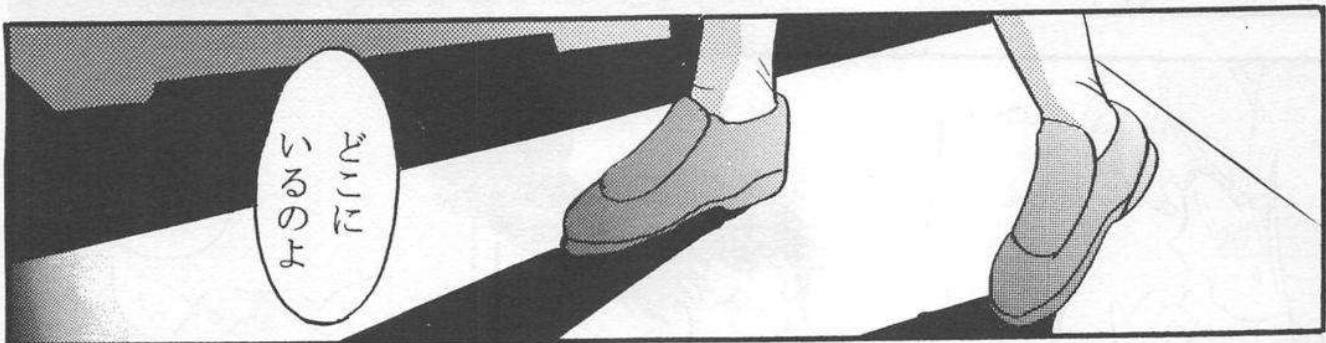




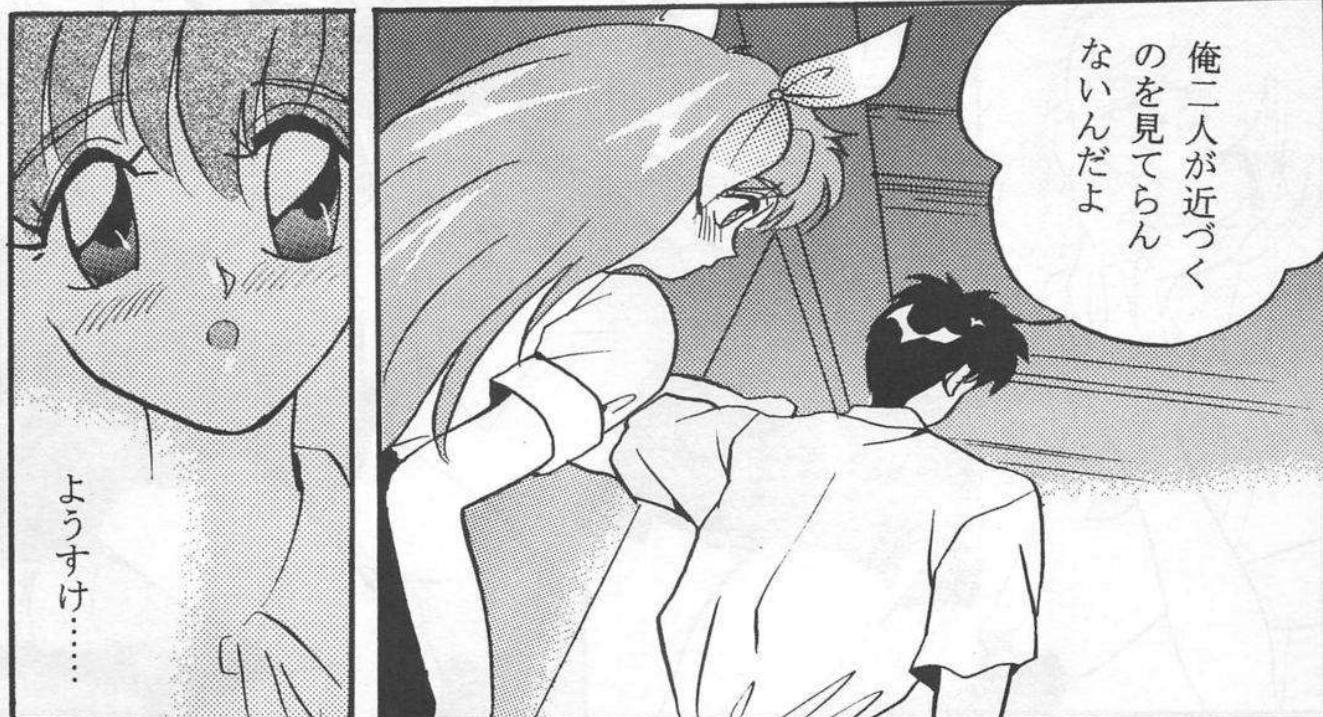
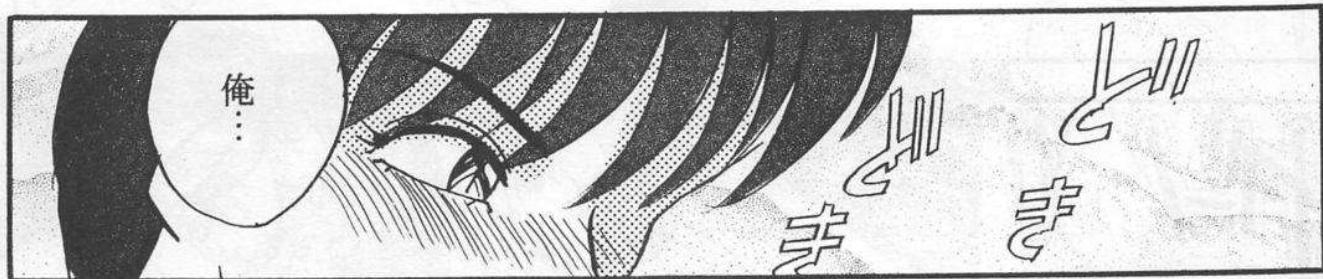
ようすけはとっても
御機嫌ナナめだわ













俺は先輩が
好きなん
だよっ！



ももこ
そいつは
変態よ





いやああつ!

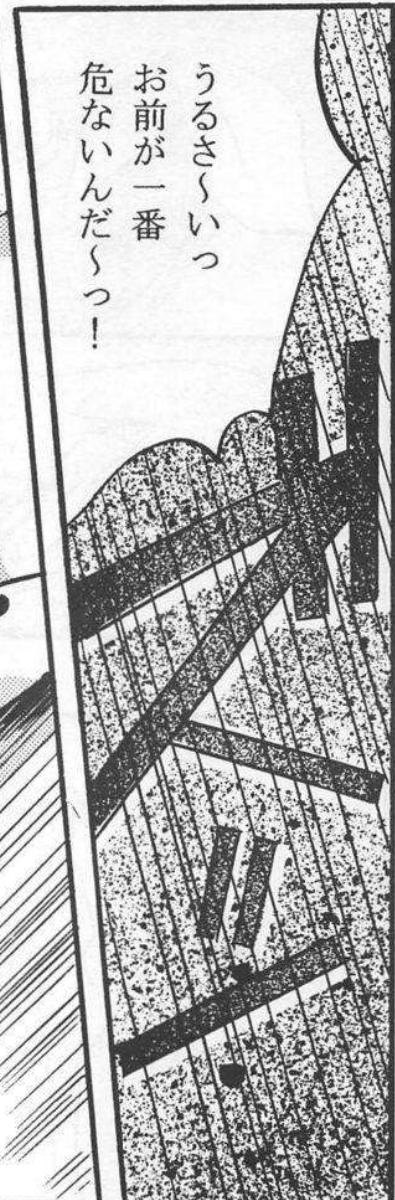
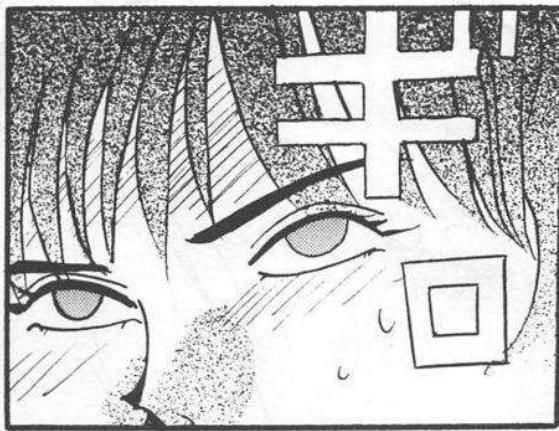














主人公 ときめきの ナニ番勝負









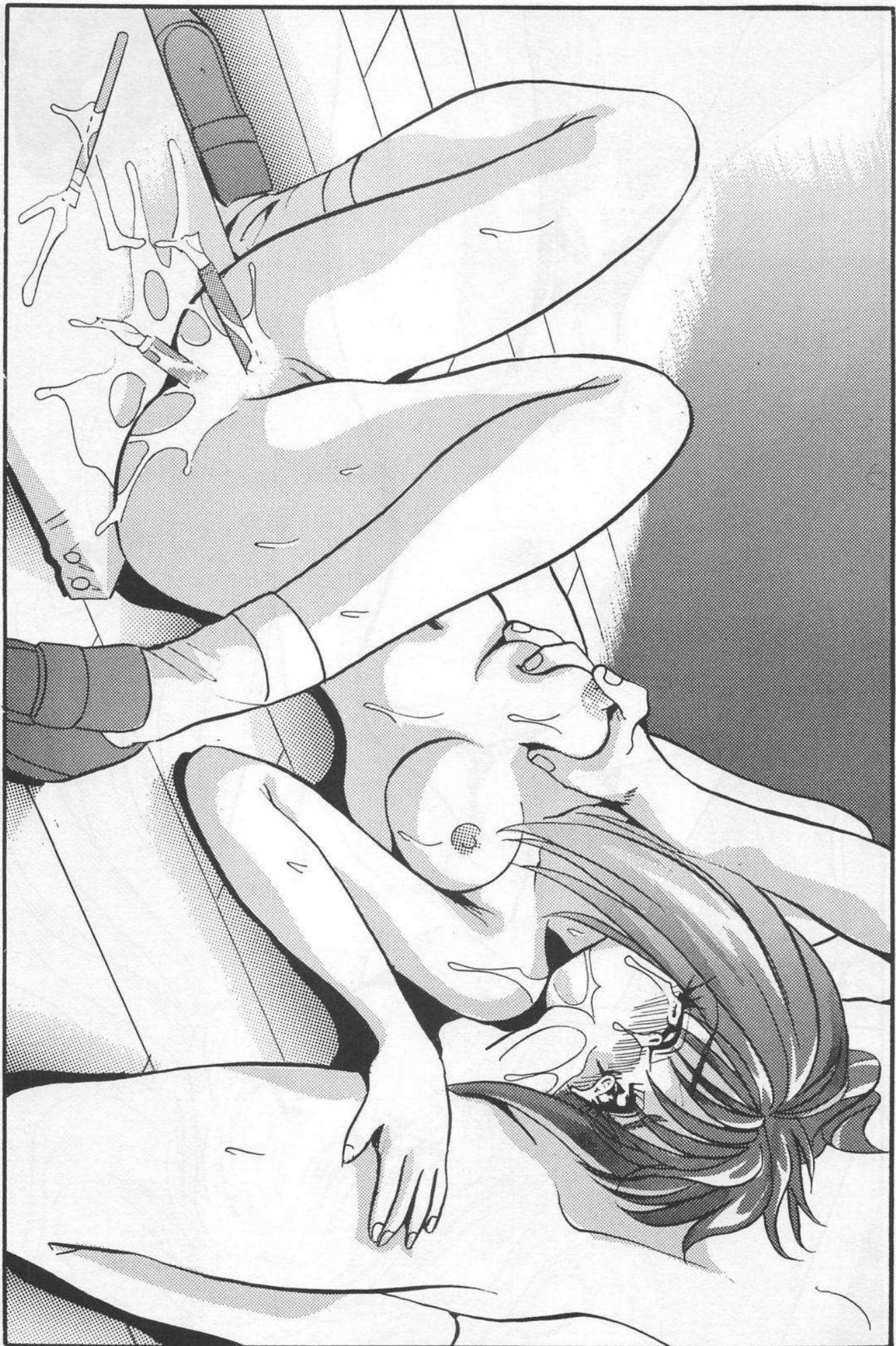






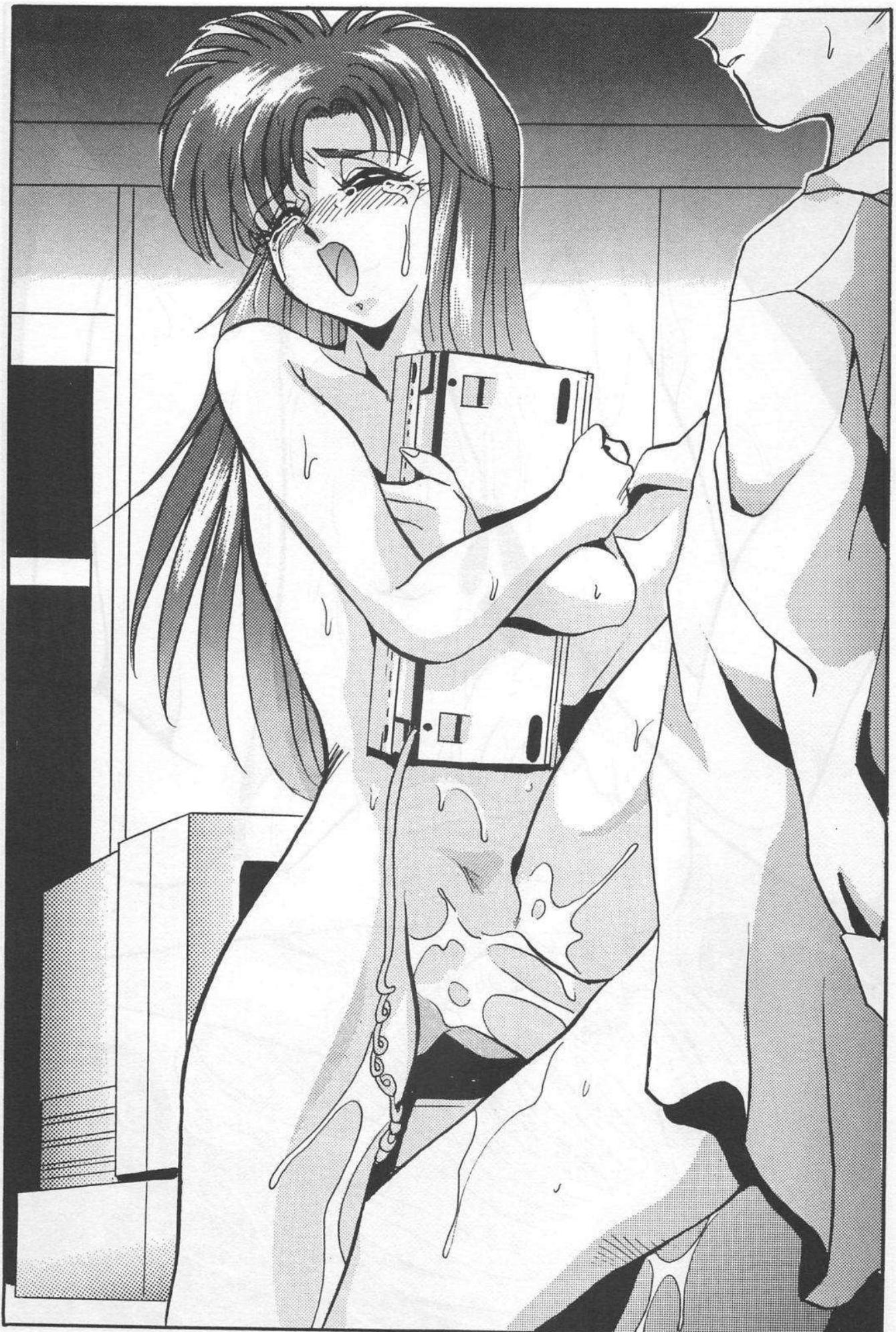


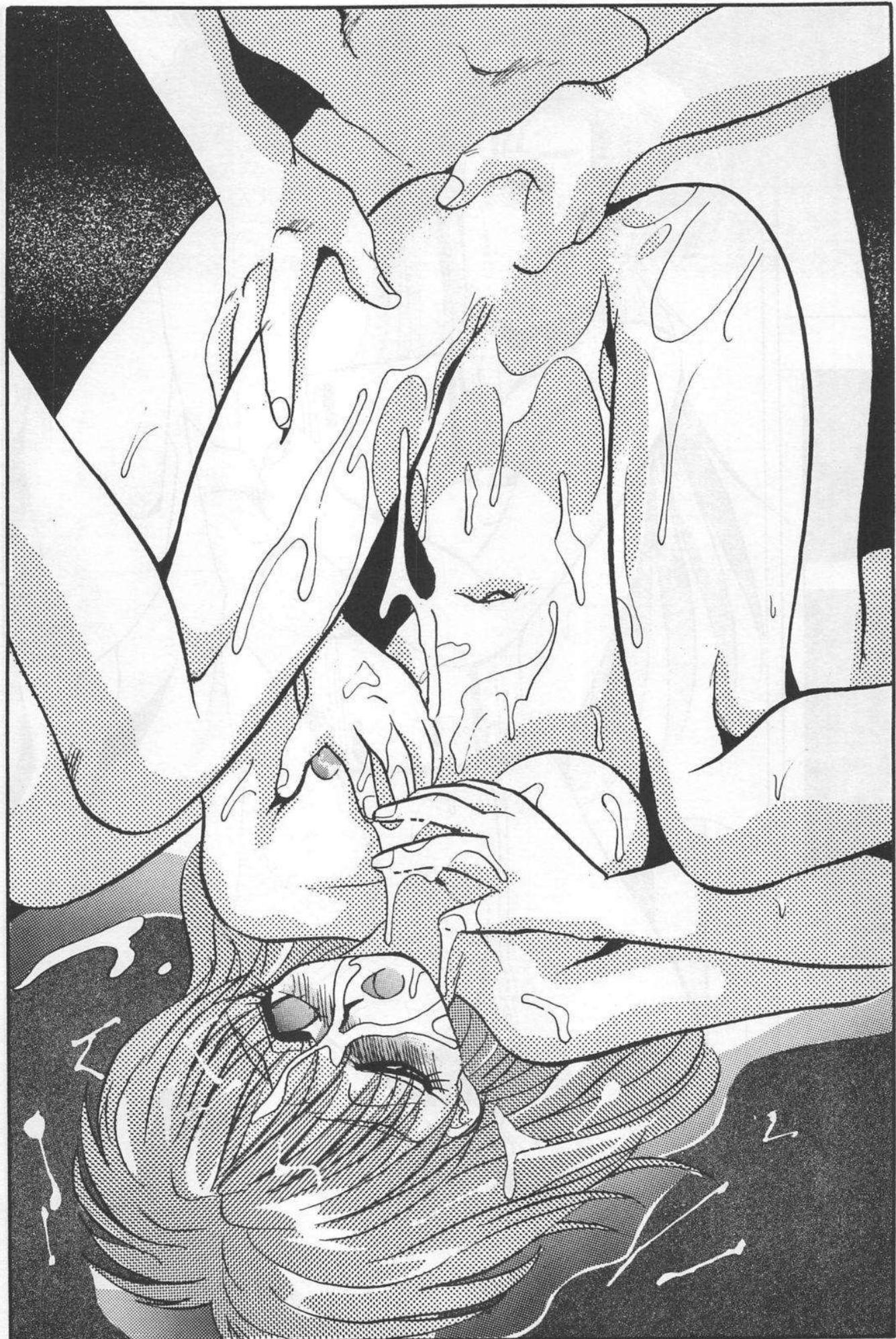














大人になりたいっ！

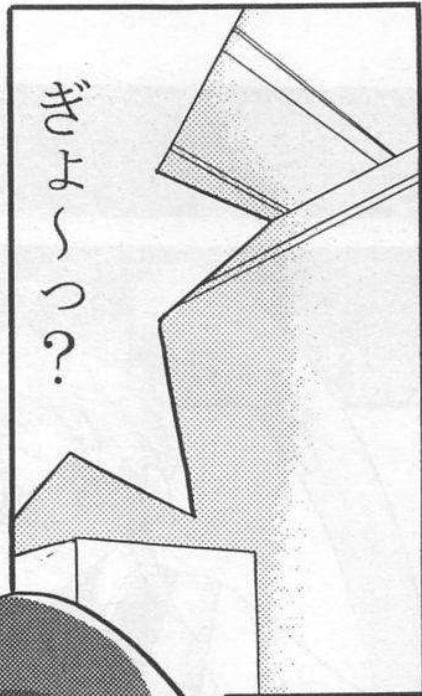
はあ…
天地兄ちゃん…

はあつ…

あたし…
天地兄ちゃん

はあ…







あ…ああ
これは大変な
病気だよ

でも大丈夫
俺が治し方を
知っているから

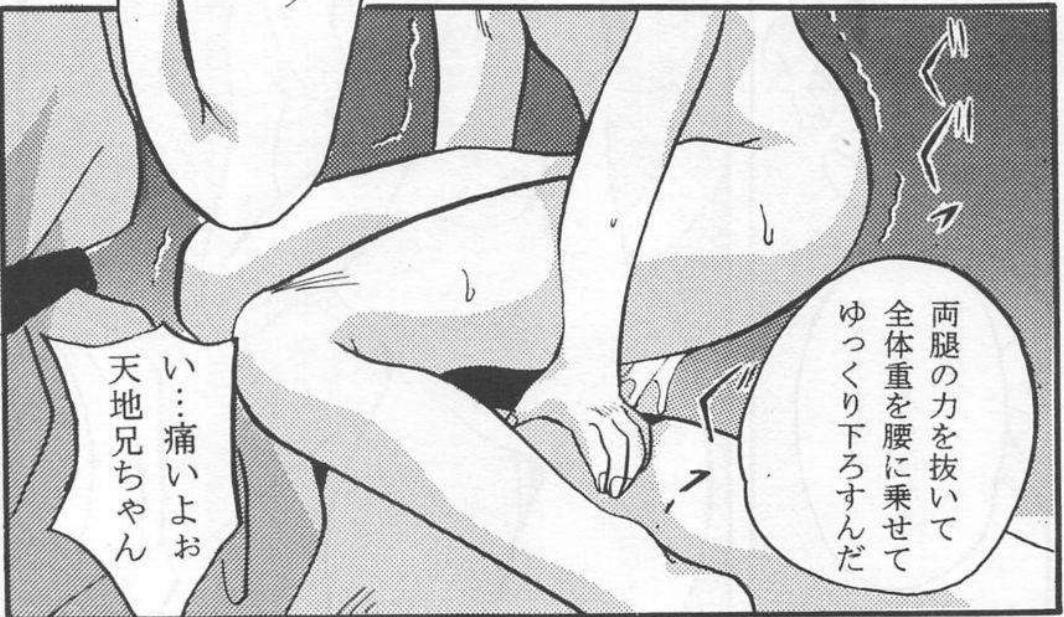
天地
兄ちゃん…













いたあーいつ
天地兄ちゃん

はああつ！

あああアツ！
…いたああいつ

ギュア









はあああああ！
天地兄ちやああん

あ…はう…

あつ…

はあ

毒素は全部
だ治出たよ
療は成功



突激！

コスプレ&ダンパ追っかけ大作戦

PART V

ありのひろし

★C-NET愛読者謝恩コスプレダンパ95・愛よ！勇気よ！希望よ！蒼き伝説マジカルシート！！in高島平区民館(95/3/26)

関東圏の同人誌即売会やダンパなどのイベント情報誌を編集し発行している団体「C-NET」というグループが主催するコスプレダンパ。今まで私が参加してきた「コスパ」や「まんだらざないと」同様、規模こそ違えど会場のノリはそれに負けず劣らず最高でした。

●舞台演出が中々凝っていて楽しめました。

例え、ステージ上で（場所は区民館の演劇ホールだったのでもちろんステージがあります）肉じゅばんのボインボインをつけた「女装」の“如月ハニー”と“キューティーハニー”が「いやよ、いやよ、いやよ見つめちやいやあ～ん」と歌いながら抱き合ってダンスしたり（ほとんど宴会芸。しかし、おひねりは飛ばなかった）。

全四部構成だったんですが、その幕間に“ストーカー”的おぢさんが椅子に腰掛けて出てきてGガンのオープニングさながら「まだ私は叫ばなければならないようです…云々…レディーーゴーーッ！」の掛け声とともに幕が開きお約束の「フラアアーイン・ザ・スカアアイ!!!」がかかったり。

“タイガーズアイ”が「ムーンライト伝説」の曲間で例の垂れ幕（？）を用意してその後ろで“あの”は…恥ずかしいファイティングコスチュームに早変わりしたりと。

参加者の皆さんがあれぞれに趣向を凝らしていて、見ているこっちは笑いっぱなしでした。

●ストソンの修行になった。

今回一番の収穫は、ストソンに決して欠かすことが出来ない“アクション”的勉強が出来たことです。誰に教わったのか？何處で覚えたのか？私達の周りのコスプレイヤー達は、曲の振り付けや合いの手をまるで一般常識のようにタイミングバッチリに合わせていたのでした。奥の深さを感じました。「ようこそマジカル・スクールへ」「めざせ！1番！」「MAGIC OF LOVE」の順でフィナーレを迎えたのですが、特にこの3連発は盛り上りましたね。「ようこそ～」では、どうやらエンディングの踊りをそのまま踊っているようでした。しかしそれが1人や2人ではなく、会場中の何十人という人達が踊ったとなれば…壮快感すらおぼえます。「めざせ～」では当然の毎く「ハイ！」の所で全員がジャンプするわ、「MAGIC～」では何かよう分からんが途中で「はいはいはいはいはいっ！」と掛け声が入るわ、ありの達はただ周囲に合わせるだけで精一杯でした。

また「フューチャーフィーロー」（鉄人28号FXの歌）の合いの手に感動しました。「本当のことだけ知りたいよ」という冒頭の部分で「教えてえ～っ！」と合いの手が入ったり、また1番と2番の間奏に「あ～くまが街を～」と「太陽の使者鉄人28号」歌ったり（これが実にピタリとはまっていましたから驚き！）、いや～参りました（汗）。

●女神様～万猫の流れでステージ上の3人の女神様やスクスクに、もう会場のヤロウ共はアイドルにでも声援を送るかのように熱気ムンムンに燃え上がっていました。なんせ「L・O・V・E・ラヴリィ～スクスク！」とコールする始末。もちろん、ありの達も一緒になって右手を振りかざして叫んできましたけど（爆）。

●私の今回のお気に入りは“ネオドイツの女”です。“シュバルツ”と並んでいる光景を見てねたましく思いました（ハッ）。彼女はその後普段着の“レン”に変身し「おお～次はいよいよファイティングスーツか～～っ」と期待させましたが、残念ながらその姿のまま最後まで過ごされました（涙）。アレンビーのファイティングスーツヴァージョンはいたんですけどね。

●また出た～っ！ある時は“男森高”そしてまたある時は“男ジュピター”、しかしその実態は？実は今回は女装せずaccessの格好をしていました。彼（彼女？）はイベントが終わりの方に近づいてくると熱くなってきたのか上半身スッポンポンになってしまい、それが妙に「SEXYだな～…」とありの思ってしまいました。（…ハッ、なんて事を考えているのだ…俺は。）

★C-NET主催(?)ダンパin高島平区民館(95/4/9)
&大阪ダンパ

2週間後、またまた高島平のダンパがありました。私は行けなかつたのですが友人T君が行ってくれました。相変わらずの盛況ぶりだったそうでここは彼の話をもとにレポートします。

●前回同様、参加者皆様の 合いの手は絶妙で、まだ2週間しか経っていないのに新ネタも公開されたそうです。

「ZENKI」でカワイイ小明ちゃん（コスパ2にも居た方）がステージに上がって踊ったのですが、例の「コスプレ親衛隊」（←あえてこう呼ばせて貰おう）の連中が下から『好きだ小明小明！（吠えろZENKI ZENKI）』と掛け声を掛ける始末。当の小明ちゃんは耳をふさいで後ずさりしていたそうです。

前回かかった「万猫」もかかり、『ハッピ~イバ~スディ！ヌクヌク！』とラヴコールはしっかりとやるし。

しかし「コスプレ新衛隊」の怒涛のコールはこれだけで終わるはずもなく、続く「姫ちゃん」では「元気な君が好き～」『姫ちゃん。』と叫ぶし、曲が終わった後に『いけいけGOGOジャーンプ！』と叫ぶし、「ママレ」では『マリ子さんの笑顔に会いたい』と替え歌しちゃったり、も～お凄かったです。彼らは一体何者なのでしょうか？（俺も仲間に入りたい～っ！らしいです。彼らは一体何者なのでしょうか？（俺も仲間に入りたい～っ！

●舞台演出も相変わらず凝っていたそうです。

いきなりオープニングから「Gガン」で始まり、舞台のドモンとレインが“石破ラヴラブ天驚拳”をかまし、な、なんとキングまで出てきて腕組みしながら会場を突っ走って行ったそうです（最終回ネタですね）。

「グルグル」ではニケのコスプレイヤーが4人ほど舞台に昇って、右手で鼻をほじりながら左手でジャブの練習をしたし（さすがに尻にパンを挟むことは出来なかつたらしいです、4/7放送のスペシャルの回）。しかも今回はキタキタおやぢも出てきて“ひらへり、ひらへり”と踊って会場中がおやぢコードで割れんばかりに盛り上がったとのことです（笑）。

そして、同じ日に別の友人Sさんは大阪で行われたダンパに参加してきました。なんか、私だけが遅れをとったみたいでくやしい～。

●コスプレイヤーは余り居なく（せいぜいスラダン位）、その代わりピンク系やドレス系の女性達が多く、“ベスト・ドレスアップ・コンテスト”なんていうコーナーも途中で在り、どちらかというと純粋にアニソンに合わせて歌つて踊るイベントのようでした。しかし、大阪という土地柄参加者の皆さんのが良く、な、なんと4次会（終了したのは午前1時。Sさんはタクシーで家まで帰ったそうです。）まであったそうです。

まず1次会は普通のダンパ、「じじいタイム」（昔なつかしの曲がかかるダンスタイル。ダンパ界では広くこう呼ばれている。）が充実していて、彼は切れまくって踊ってきたそうです。特に「ブルーノア」では「一体こんなで誰が踊るんじゃ…」と思いつながらも身体は知らないうちにリズムに合わせて…自分の中にストソソの血が脈々と流れていることに改めて気付かせた、と言つてました。そして「ZENKI」がかかった時に、会場の真ん中で「サタデーナイトフィーバー」のジョン・トラボルタながらの注目を浴び、気が付いたら自分を中心に皆が周りを取り囲む圓になっていたのです。その渦の中心核で「バジュラオヘン！バジュラオヘン！…」に合わせながらジャンプてきて、そのせいで一週間は身体中の筋肉が痛かつたということです。

●「逆ドレミファドン！！」というアニソン・特ソソの曲名当てのクイズ大会があり中々楽しめたらしいです。これはご存じのように一昔前のTV番組「クイズ！ドレミファドン！！」と同じなのですが、「逆」が付くだけあってただの「ドレミファドン」ではない。ぬあんとエンディングのしかも後ろの終わりだけを聞かせて当てさせるっていうから凄い。ちゃんと賞品なんかもあったそうで、有志のイベントの割りには中々しっかりしているなあと思いました。

BGM by RATA BLANCA
CONCEPTION

オペレーションメテオ発動!!

“民間人に偽装したコスプレイヤーがゴールドに潜入した。しかし、それは察知されていた。”

そう私ありのこの日とうとうコスプレイヤーとして世間の桧舞台にデビューしたのでしたあつ！夏を待たずしてついにガンダムWの“デュオ”としてコスプレイヤーの第一歩を踏み出しました。昨年12月新宿でのゼイラム2上映会で“フライドチキン男”に扮装したことはあったのですが、その時は友人の準備してくれた衣装をそのまま着ただけにすぎず本当の意味でのコスプレではなかった。しかし、今回は自分で糸と針を持ち衣装作りから始め、眞の意味でのコスプレイヤーとしてのデビューでした。では今回のコスパのレポートを始めましょう。

●まずは今回のコスパが終わっての印象。時間の経つのが早かった。アツと言う間の5時間でした。歌って、踊って、写真も撮れたけど何か前回と比べると物足りなさが残りました。前回よりも人が多くせわしかったせいかもしれません。1月の時は3Fと2Fを何回も往復して両方のホールで、余すこと無く楽しめた気がしたのですが…。コスプレコンテストも見れたし…マジックショーも見れたし…(つまらなかつたけど)。

●ありの最初の1時間位フライドチキン男の格好をしてまわっていました。その後友人を引き連れて着替えをして、ありの“デュオ”の、友人は“カトル”的コスプレをしました。何せ初めてのことだったので、途中で造り物のおさげが取れるというハプニングもあり大変でした。でも実際にやってみてコスプレの楽しさを初めて知ることが出来ました。写真を撮るのに普段より気兼ね無く声を掛けられるし、何より自分の格好を見て「デュオですよね」と言われた時の快感と言ったらありません。これは病み付きになりそうです。

●今回の一押しは眼鏡のバニーちゃんでした。余りこういったイベントには馴れていないらしく初々しい感じがとても好感を持てました。コスプレコンテストのエントリーもしておらず非常に悔やまれます。

お馴染みの顔もたくさん来ていました。JAFCON、夏冬コミ、まんだらあづないと2でマジブリ、ナコをやっていた娘が今回ようこをやっていました。相変わらずカワイイです(モエモエ…)

夏コミで会って以来中々一緒に写真を撮る機会が持てなかったSUGOチームのあすか&ミキと一緒に写真も撮れたし良かった(涙)。

それと今回の私にとっての特別賞は何と言っても、森高君(!)のピンクサターンのコスプレと麻原被告のコスプレでしょうか。前者は2月のC-NET主催のダンパでも紹介したaccessのコスプレをしていた彼です。その時ありの、男性でありながらドキドキする位セクシーな彼(彼女?)の魅力に一気にファンになってしまいました。それにしても今回は、か…過激すぎる…。後者はタイムリーでその日一日皆の人気者になっていました。私は頭を撫でてツーショットして貰いました。その日のスポーツ新聞の見出しを飾っていた「麻原教祖は脱出してました！」の記事を見ると、あれは今でも本物の麻原教祖ではなかったか?と思える位似ていました。ま…まさか麻原教祖が自分のコスプレをしてわざわざダンパに来るわけないか。



★からくりあいどる2 in 浦安市民プラザ(95/5/7)

- 当日は5/5のコスパに引き続き“デュオ”の格好をしました。
この時の一押しクイーンは“プルート”的娘でした。普段眼鏡をしているのですが写真に写る時はなぜか眼鏡を外していました。カワイイ娘はかけていてもカワイイから別に取らなくても良いのに、と思いました。中には眼鏡に燃える人もいるらしいです。
- 5/5のゴールドで「C-NET」のビラを配っていた“ミンメイちゃん（劇場バージョン）”も来ていました。彼女、この時は他に“ミレース”も演っていました。とっても小さくて可愛いです～。

- 6時間耐久ダンパ（もちろん途中休憩はあります）で、全編息抜く暇がありませんでした。曲目はつい4日前に行った「プロローグ21」（この時は65曲も歌ったらしい…我ながら…）とほぼ同じ。じじいな曲が充実していました。

● 怪人二十面相もまっ青!! 恐怖の変身男現る!!

この6時間と言う限られた時間で皆さんそれぞれにその曲にあったコスプレに変身していたのですが、一番“お色直し”が多かったのは「彼」でしょう。私が行く所に必ず現れる謎の人物。彼は今回8種類もの変身をしてきました。“ジェルコニア”“ブーツホルツ”“エグゼブ”“Dr. J”“シュヴァルツ”“レイ”“グレン”“ストーカー”まだ他にもあったような気が…思い出せるだけでこれだけです。更衣室で見た時は2つのバッグしか持っていないなかったのに一体何処にあれだけの衣装をしまって持ってきたのでしょうか。謎だ…。

● 終いにありのひろしパフォーマンスに疾るっ!!

何の曲が掛かるのかその日のリストが全員に配られていたので、「JUST COMMUNICATION」が掛かる事を前もって知った私は会場にいたヒイロちゃんと綿密な打合せの上、壇上で第2話のパフォーマンスをする事になりました。船上でヒイロがデュオに銃で撃たれるシーンです（笑）。見事にうまくいったのですが、なんとそこに“リリーナ”的コスプレをしていた女の子が「私の星の王子様に何をなさるのっ！」と割って入ってきたのには驚きました。おかげで大ウケ（＾＾）。いやあ～突然のアドリブでナイスフォローをしてくれるコスプレイヤー魂に頭が下がりました。まだまだ修行が足りないようです。更に精進せねば。



より本当はこもれさき
アーリーニー タイズ ① 宝文書店

'84年 「イウォーク・アドベンチャー」

そして'95年世界のルーカス・フィルムが再び世界に放つ
ロマンチック・ムービー

モコナ・アドベンチャー

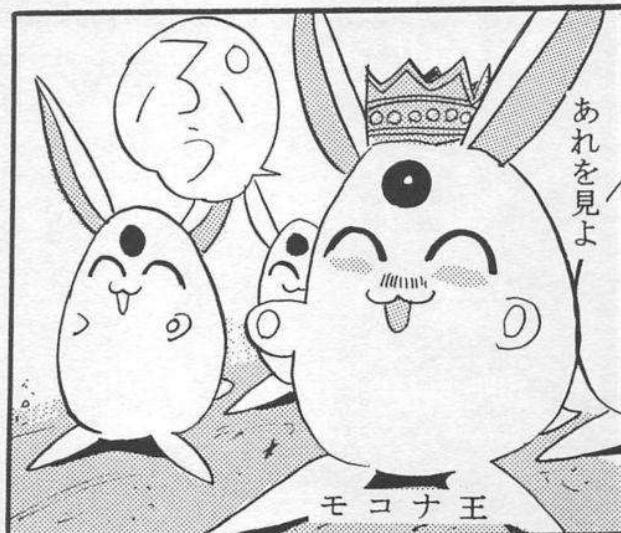
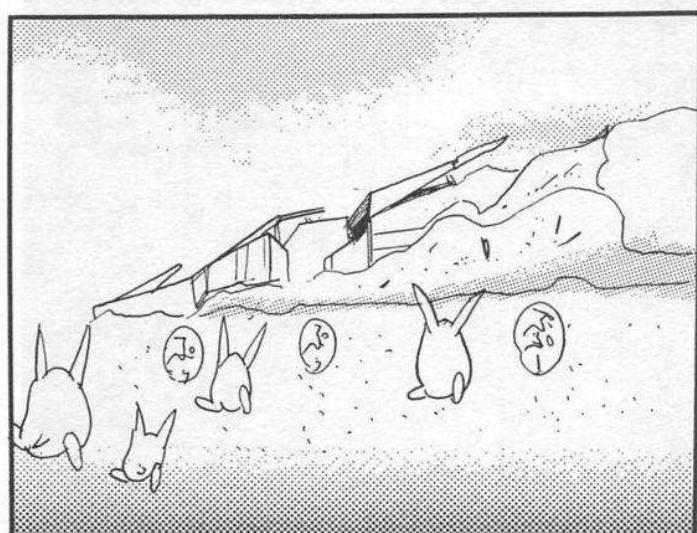
CARAVAN OF COURAGE:
A MOKONA ADVENTURE

訳：戸田公園奈津子

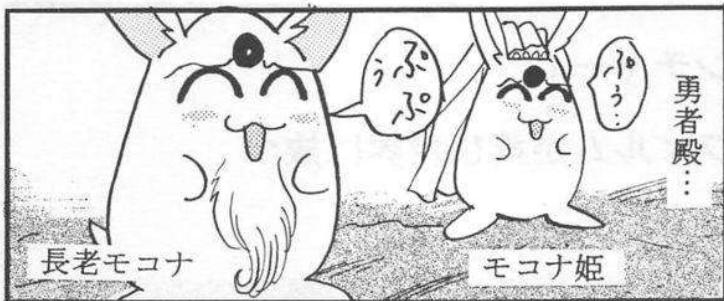
予告編

上映時間 4時間19分 R指定

製作総指揮 ジョージ・ルーカス
原作 CLAMP 監督・脚本 平禁破
出演 モコナ／獅堂光／龍咲海／鳳凰寺風他



僕が光ちゃんを助けに行くんだ



続々寄せられる感動のメッセージーーーー

や、やってくれたなジョージ…。彼は素晴らしい。
<ステイブン・スピルーラー>

ハンカチを50枚も用意したのに足りなかったわ。
<小森 子>

いや一モコナって本当に良いもんですね～。
<水野 晴>

映画史上に残る金字塔だ。この作品に巡り会えて
もうこの世に悔いはない……うっ！（バタッ）
<淀川 長>

ATOGAKI MOUSOU THEATER

5

ありのびし

これが発行される夏ミミでは。
私はありのはコスプレのオーディションを
していいことでしょう……
私は向かって笑笑……私は見てのよ葉しみ
お立ちく当日そのコスプレをして店番していいことでしょう。

「コスプレ店、かけへん」を読んだ人は、余りカリカと想いますが、最近、
私は「ダンパ」に没頭しています。ホント「ダンパ中毒」になります。
体がうずくまく、普段運動不足の私にとってはダンパは
良い運動になります。声も出すからストレス発散にもなるし。
コスプレイヤー同士の交友も出来るし、今の私にとって
一種のカンフル剤となっています。

アレ? こんなあとがきでいいやありも私の
近況報告にならません?

まあ、いつものことです。
「Z-RIB Mousou」がいちばん
会いましょう!

アキラ☆



1995年8月18日 第1刷発行

■発行所 ■スタジオBIG-X

■印刷所 ■誠栄社

■発行連絡先 ■〒211神奈川県川崎市中原区
木月328-1 サカエフラット元住吉104 藤田方

MOUSOU 5 THEATER

THANX. . .

★無断転載・無断複写
を禁じます
18歳未満にはお売り
できません



MOUSOU THEATER

STUDIO
BIG-X